

川越市立地適正化計画見直し説明会 地区別の災害リスク

高階地区・福原地区

地区別の災害リスク(高階地区)[ミクロ分析:洪水浸水深・内水氾濫・土砂災害]

<高階地区全体の特徴・リスク>

都市機能誘導区域・居住誘導区域

- 地区の北部の新河岸駅周辺に都市機能誘導区域が設定されているほか、市街化区域の大半が居住誘導区域となっている。

洪水(浸水)

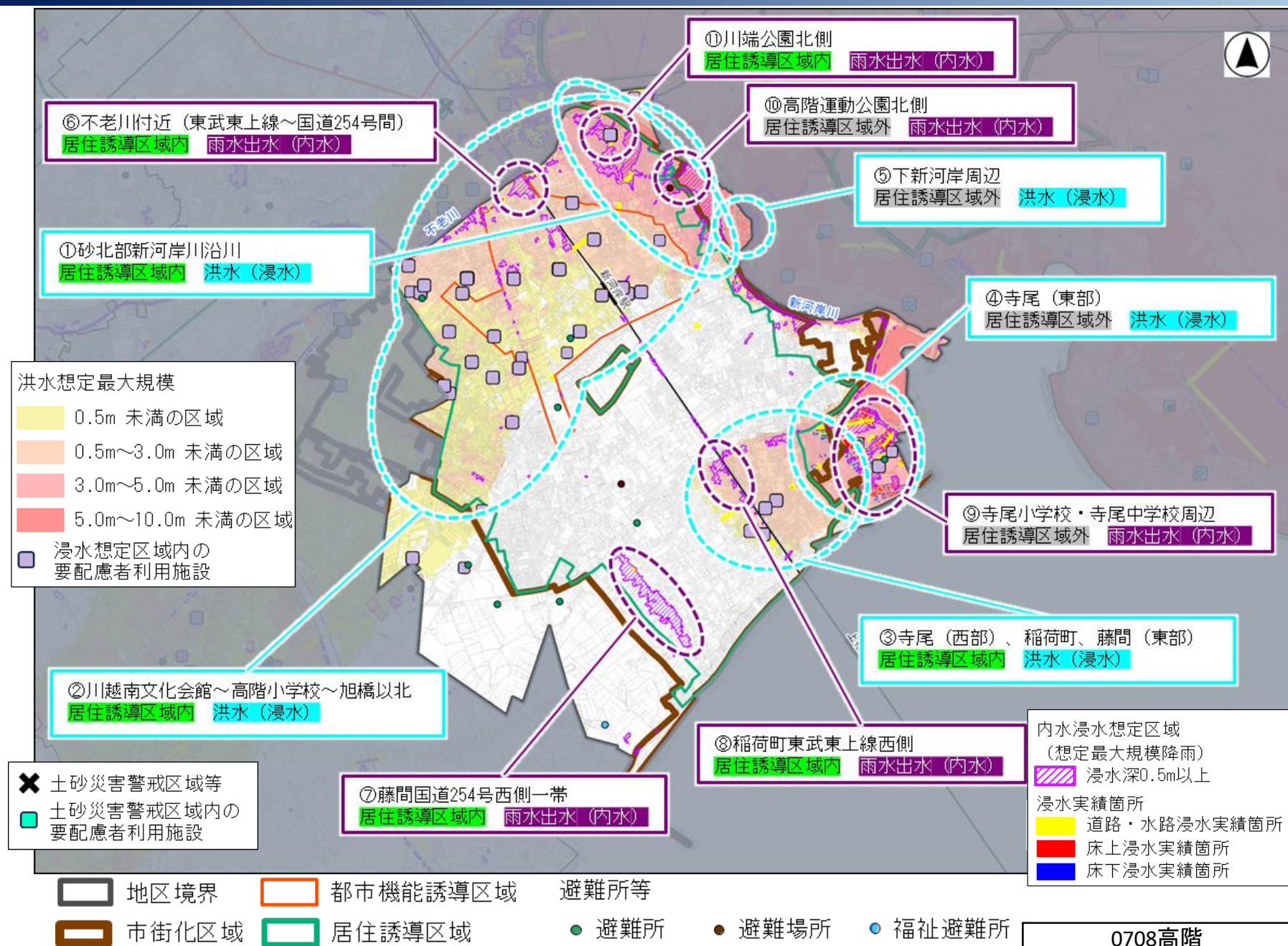
- 地区中央部から南部にかけては台地となっているが、地区北部を流れる不老川、新河岸川の周辺部は低地となっており床上浸水のリスクがあるエリア(浸水深0.5m以上)となっている。また河川に近いエリアでは一部浸水深が3.0m以上の浸水が想定される。2階まで浸水がおよぶ可能性があることから低層の家屋においては垂直避難が困難となる。

雨水出水(内水)

- 河川に近い低地部において広い範囲で床上浸水のリスクがあるエリア(浸水深0.5m以上)が存在する。また、台地上の市街地においても一部同様のエリアが存在する。道路の浸水実績がある箇所も点在している。

特に留意すべきリスクがあるエリア名 (次のページの図中の丸番号に対応)	説明
①砂北部新河岸川沿川 居住誘導区域内 洪水(浸水)	市街地や集落等が形成されており、想定最大規模の洪水では3.0m以上の浸水が想定される。2階まで浸水がおよぶ可能性があることから低層の家屋においては垂直避難が困難となる。特に扇河岸跡周辺では低頻度(200年に1度)で1階以上浸水する想定となっている。また、エリア全体で中頻度(50年に一度)の確率で床上浸水するリスクがある。
②川越南文化会館～高階小学校～旭橋以北 ③寺尾(西部)、稻荷町、藤間(東部) 居住誘導区域内 洪水(浸水)	市街地や集落等が形成されており、人口、高齢者人口ともに比較的多い地区となっている。洪水による床上浸水のリスクがあり、垂直避難が困難な家屋が多い。
④寺尾(東部) 居住誘導区域外 洪水(浸水)	居住誘導区域外だが、集落等が形成されており、人口、高齢者人口ともに比較的多い地区となっている。洪水による床上浸水のリスクがあり、垂直避難が困難な家屋が多い。
⑤下新河岸周辺 居住誘導区域外 洪水(浸水)	居住誘導区域外であるが、まとまって住宅が存在し、洪水による床上浸水のリスクがある。垂直避難が困難な家屋が多い。
⑥不老川付近(東武東上線～国道254号間)、⑦藤間国道254号西側一帯、⑧稻荷町東武東上線西側 居住誘導区域内 雨水出水(内水)	市街地が形成されており、内水氾濫による床上浸水のリスクがある。
⑨寺尾小学校・寺尾中学校周辺、⑩高階運動公園北側、⑪川端公園北側 居住誘導区域内 居住誘導区域外 雨水出水(内水)	市街地が形成されており、内水氾濫による床上浸水のリスクがある。過去にエリア内の多くの家屋が床下・床上浸水した実績がある。

地区別の災害リスク(高階地区)[ミクロ分析:洪水浸水深・内水氾濫・土砂災害]



地区別の災害リスク(高階地区) [ミクロ分析:洪水浸水継続時間・家屋倒壊等氾濫想定区域]

＜高階地区全体の特徴・リスク＞

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 不老川・新河岸川の沿川に家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）が分布しており、不老川の右岸部は居住誘導区域となっている。

洪水（浸水継続時間）

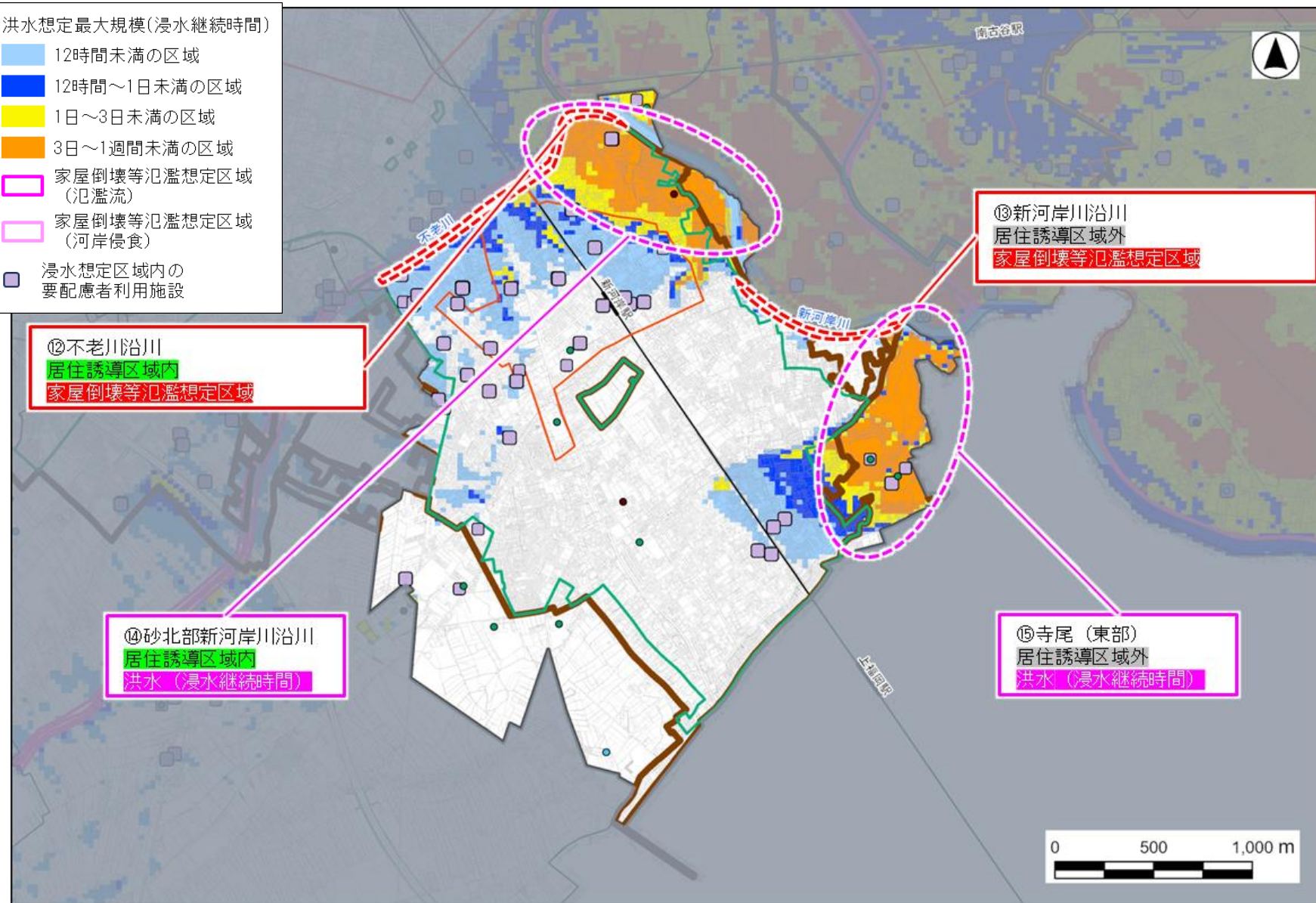
- 新河岸川沿川において長期にわたり浸水が継続するエリアが存在する。特に、北部のエリアについては居住誘導区域となっている。エリア内には要配慮者利用施設が立地している。

特に留意すべきリスクがあるエリア名 (次のページの図中の丸番号に対応)	説明
⑫不老川沿川 ⑬新河岸川沿川 居住誘導区域内 居住誘導区域外 家屋倒壊等氾濫想定区域	市街地が形成されており、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）内に家屋が多く存在するため、洪水時に家屋が倒壊・流失するおそれがある。
⑭砂北部新河岸川沿川 居住誘導区域内 洪水（浸水継続時間）	浸水継続時間3日以上エリアとなっており、浸水が始まると屋外への避難が困難となり長期孤立するおそれがある。また、エリア内には要配慮者利用施設も立地している。
⑮寺尾（東部） 居住誘導区域外 洪水（浸水継続時間）	浸水継続時間3日以上エリアとなっており、浸水が始まると屋外への避難が困難となり長期孤立するおそれがある。また、エリア内には要配慮者利用施設も立地している。

地区別の災害リスク(高階地区) [ミクロ分析: 洪水浸水継続時間・家屋倒壊等氾濫想定区域]

洪水想定最大規模(浸水継続時間)

- 12時間未満の区域
- 12時間～1日未満の区域
- 1日～3日未満の区域
- 3日～1週間未満の区域
- 家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食)
- 浸水想定区域内の要配慮者利用施設



- 地区境界
- 都市機能誘導区域
- 避難所等
- 市街化区域
- 居住誘導区域
- 避難所
- 避難場所
- 福祉避難所

0708高階

地区別の災害リスク(福原地区)[ミクロ分析:洪水浸水深・内水氾濫・土砂災害]

<福原地区全体の特徴・リスク>

都市機能誘導区域・居住誘導区域

- 地区北西部の一部に居住誘導区域が設定されているが、地区の大半は居住誘導区域外となっている。

洪水(浸水)

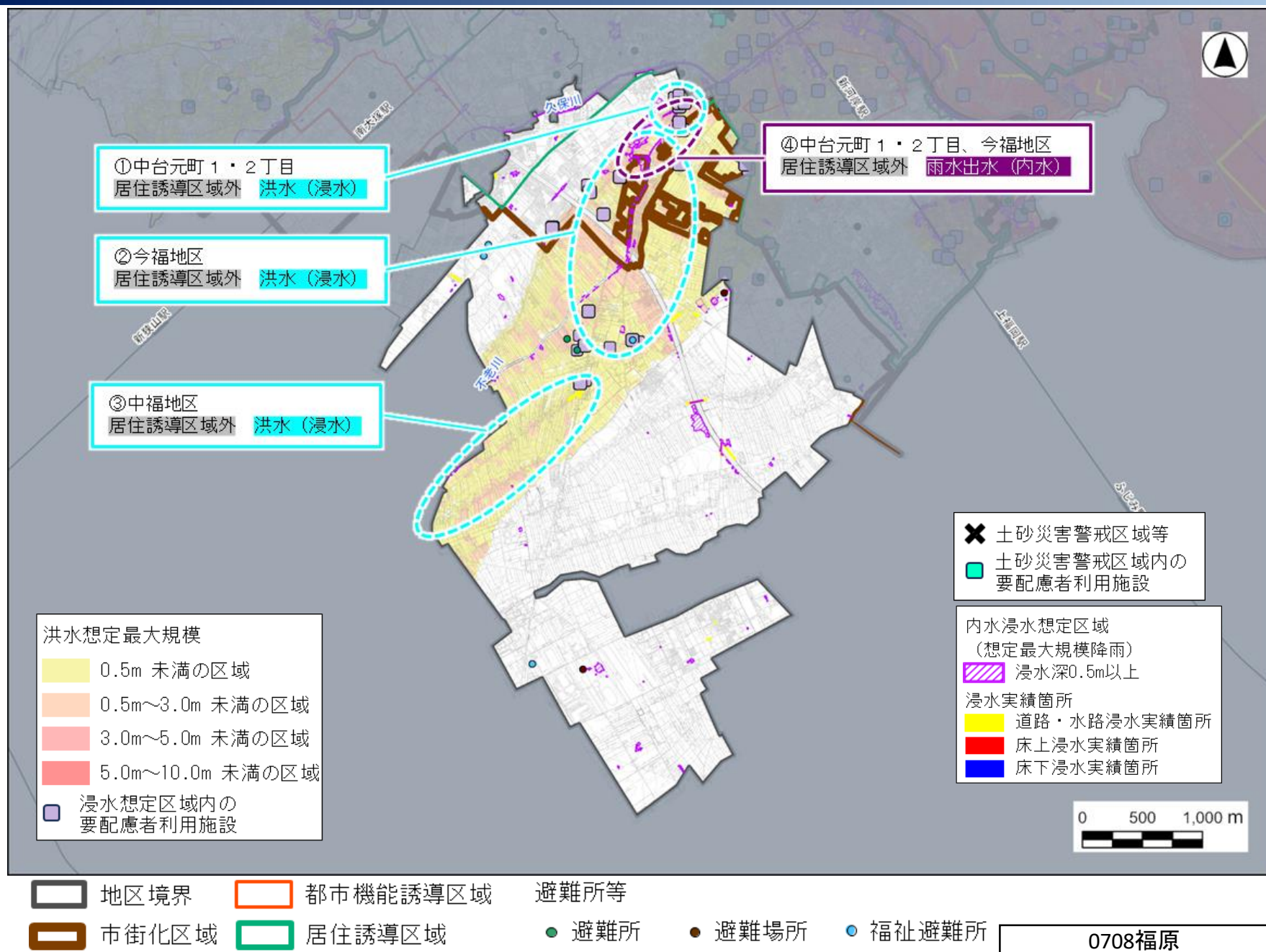
- 地区北西部の不老川沿いに洪水浸水想定区域が広がっており、一部に床上浸水のリスクがあるエリア(浸水深0.5m以上)が存在する。また、エリアの一部に要配慮者利用施設が立地している。

雨水出水(内水)

- 床上浸水のリスクがあるエリア(浸水深0.5m以上)が一部に存在している。

特に留意すべきリスクがあるエリア名 (次のページの図中の丸番号に対応)	説明
①中台元町1・2丁目 居住誘導区域外 洪水(浸水)	浸水深0.5m以上のエリア内に家屋が立地しており、人口、高齢者人口ともに比較的多い地区となっている。洪水による床上浸水のリスクがあり、垂直避難が困難な家屋もある。
②今福地区、③中福地区 居住誘導区域外 洪水(浸水)	浸水深0.5m以上のエリア内に家屋が立地している。洪水による床上浸水のリスクがあり、垂直避難が困難な家屋もある。
④中台元町1・2丁目、今福地区 居住誘導区域外 雨水出水(内水)	浸水深0.5m以上のエリア内に家屋が立地しており、内水氾濫による床上浸水のリスクがある。

地区別の災害リスク(福原地区)[ミクロ分析:洪水浸水深・内水氾濫・土砂災害]



地区別の災害リスク(福原地区) [ミクロ分析:洪水浸水継続時間・家屋倒壊等氾濫想定区域]

＜福原地区全体の特徴・リスク＞

家屋倒壊等氾濫想定区域

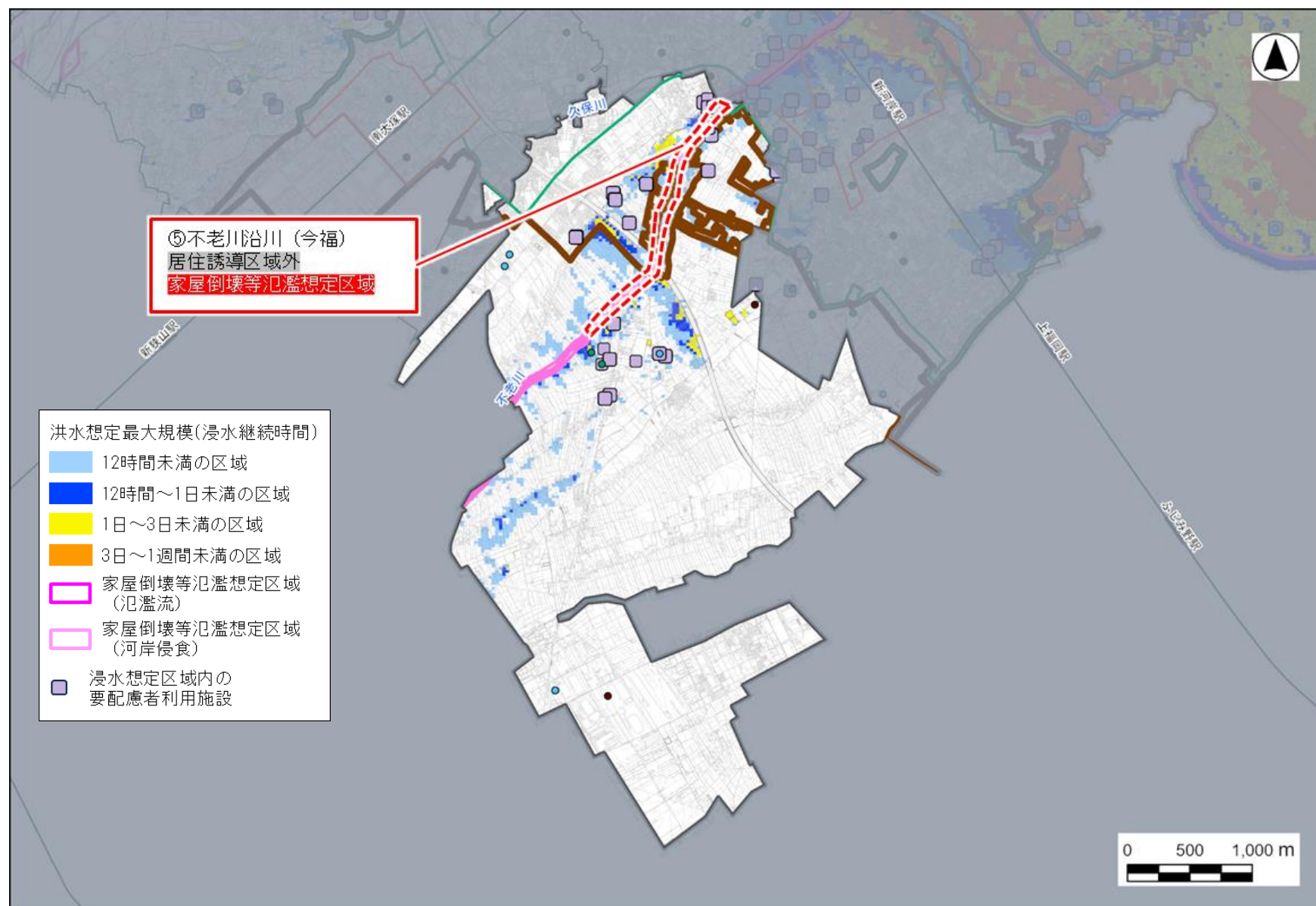
- ・ 地区北部の不老川の沿川に家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）が存在している。

洪水（浸水継続時間）

- ・ 地区内には浸水継続時間が3日以上となるエリアは存在しない。

特に留意すべきリスクがあるエリア名 （次のページの図中の丸番号に対応）	説明
⑤不老川沿川（今福） 居住誘導区域外 家屋倒壊等氾濫想定区域	家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）内に家屋が立地しており、洪水時に家屋が倒壊・流失するおそれがある。

地区別の災害リスク(福原地区) [マイクロ分析: 洪水浸水継続時間・家屋倒壊等氾濫想定区域]



地区境界
都市機能誘導区域
避難所等
市街化区域
居住誘導区域
● 避難所
 ● 避難場所
 ● 福祉避難所